

伊豆中央道江間料金所の今後と静浦バイパス開通後の影響について



八木 基之



問 伊豆中央道の有料化再延長の見通しは。

答 静岡県は、静岡県議会2月定例会において、本年10月2日までとしていた伊豆中央道と修善寺道路の料金徴収期限を延長する方針であることを表明した。

両道路を無料化した場合の交通量を予測したところ、約2倍になるということが確認され、さらなる渋滞の悪化が予想されることから、引き続き高速性や定時性といった基幹道路としての機能を最大限発揮できるようにすることが理由で、静岡県は有料化の再延長を行っていくと市は認識している。

問 延長期間はどのくらいか。

答 静岡県は無料化した場合、交通量が大幅に増える懸念があることから、伊豆中央道、修善寺道路の料金徴収期限を40年程度延長すると聞いている。

問 ETC導入は決定しているのか。

答 静岡県は利用者の利便性向上、料金徴収業務の低減のためにETC導入

の調整をしていくと聞いている。

問 静浦バイパス開通に伴う交通量の増加に対する具体策は

答 国道414号静浦バイパスの沼津市下香貫から大平ICまでの第1期工区の供用開始に伴い、県道原木沼津線を経由し、江間ICに向かう車両が増加することが見込まれるため、江間地区においては、これまで以上に渋滞が発生し、また渋滞を回避しようとする車両が生活道路へ流入することが懸念される。

このため、県道葦山伊豆長岡修善寺線、県道静浦港葦山停車場線などの基幹道路において適切なルートの誘導がなされるよう、静岡県と協議を行っていく。



伊豆中央道江間料金所

半年後に迫る伊豆中央道無料化



鈴木 俊治



問 今年3月末の未償還残高について

伊豆中央道の51億円の黒字、修善寺道路は23億円残ると推定、合併採算制の計算では償還済みと考えられる。このような中、伊豆中央道通行料金が本年10月3日より無料化が、道路整備特別措置法の改正で危ぶまれている。同法の改正でどのように変わるのか。

答 地方道路公社等が管理する有料道路の整備促進等のため未供用の道路も追加になる。未供用の道路とは静浦バイパスも制度上は該当する。

問 県は料金徴収延長により、伊豆中央道の渋滞緩和が可能と言っているが、本当は静浦バイパス等の工事財源を生み出すことが目的とも取れる。如何か。

答 手続を行うのは県なので、答弁は差し控えます。

問 伊豆中央道は昭和60年に国道136号等の慢性的な渋滞緩和のために造られた。今、県は観光関係車両の通行が増えたので江間料金所の料金徴収を延長すれば136号へその通行量が流れ、

136号が渋滞しても伊豆中央道はスムーズに通行できると言っている。どこがおかしくありませんか。市は、近隣市町と連携し県へ無料化の要望をしないか。

答 静浦バイパスの2期・3期工事も取りかかる予定なので全体の道路整備を考えていくことが重要だと思っっている。県へ一概に反対を言うのではなく、代償措置も含めて、市は住民のためになるように検討協議をしていく。



伊豆中央道江間料金所

肥料等の高騰と耕作放棄地拡大

問 稲作農家へ肥料や資材等の高騰分の一部を助成する考えはないか。

答 国は春肥1万円当たり1444円、県は309円助成する支援措置を予定。詳細は市ホームページや広報で周知する。

問 市独自で肥料の高騰対策の助成(例えば10㍗当たり千円)が実現されれば耕作放棄地の拡大抑制にもつながるはず。補助を考えられないか。

答 市単独補助は、肥料や資材の高騰の推移や県道の動向を注視し、必要性を判断したい。

● 一般質問 ●

子宮頸がんワクチン接種の
周知と子宮頸がん予防に
対する市の対応について

森下 茂



問 ①今回、定期接種に追加される9価ワクチンの有効性と安全性は。②令和4年度接種対象者数と接種時期を逃してしまつたキャッチアップ対象者数は。③ワクチン接種(9価ワクチンを含む)令和5年度当初予算は、何人分ほどの程度の予算か。④HPVワクチン接種と併せて二十歳を過ぎたら2年に1回子宮頸がん検診を受けるべきとの指摘があるが、見解は。⑤今後、HPVワクチン接種向上と子宮頸がんに対する市の取り組みは。

答 ①9価ワクチンは、2価、4価ワクチンより効果が高いとされており、4価ワクチンと比べ安全性は一定程度明らか。②令和4年度接種対象者は768人、キャッチアップ対象者は1429人。③令和4年度の定期接種者133人分、キャッチアップ対象者89人分の2千万円を計上。④毎年検診ガイドを個別発送。また、21歳になる女性に子宮頸がん検診無料クーポンの同封や成人式の案内通知に検診のお知らせを同

封。⑤対象者に個別通知の発送、接種機会を逸したキャッチアップ対象者に特別通知を発送。今後も、ワクチンの有効性や安全性に対し、正確な情報発信に努める。

公共施設の男性トイレにサニタリーボックスの設置を。

問 ①市内にサニタリーボックスを必要とする想定数は。②市内公共施設の男性個室トイレにサニタリーボックスは設置されているか。③公共施設にサニタリーボックス設置の考えは。

答 ①市内に必要としている人数は把握していない。②市内の40公共施設のうち、男性個室サニタリーボックス設置は2施設、反射炉ガイダンスセンターと斎場柵の杜。③設置の必要性は認識しているので、多目的トイレを中心に順次設置。



公共施設の男性トイレにサニタリーボックス設置

令和5年度
予算編成方針について

天野佐代里



問 コロナ禍の現状を踏まえ短期的な施策はもろろんのこと、安全・安心なまちづくりと賑わいを取り戻すために将来を見据え中長期的に積み上げていく施策が欠かせないと考える。当市の魅力を最大限に発揮し活性化できる施策を期待する声を多く聞くが見解は。

答 本市の魅力としては、風光明媚な景観、自然環境と豊かな歴史文化資源、温泉や交通の便などが挙げられる。「かわまちづくり計画」は狩野川の水辺空間を活用した広場・ドッグラン・自転車オフロードコース等を備えた都市公園で、サイクルツーリズムの拠点としてインバウンドにも対応し本市の魅力内外に発信する施設になると確信している。



かわまちづくり計画

また、新たな魅力の創出として、幼児から中学生までの切れ目のない英語教

育の推進を打ち出し「英語教育のまち伊豆の国市」を目指していく。

安全な市民生活のための立地適正化計画の見直しについて

問 市長は就任時の所信表明で、市街化調整区域の土地の有効利用の検討を上げていた。土地利用は非常に分かりにくい制度であり市民の理解を得ながら推進していくことが求められると思うが、進め方・理想とする将来像については。

答 見直しは令和5・6年度で市民や有識者で構成する協議会を設置し広く意見をいただき計画に反映していく。社会経済状況等の変化・人口の推移・目標値の達成状況等について検証を行い、必要に応じて居住や都市機能の集積を誘導する区域の再設定などを行う。また、都市再生特別措置法が令和2年6月に改正されたため、居住誘導区域内の防災対策・安全確保等を定める防災指針を追加する。

伊豆長岡駅・田京駅及び伊豆長岡温泉駅の周辺を都市機能・医療拠点に、また原木駅・葦山駅及び大仁駅の周辺を地域生活拠点と位置づけ、これらの拠点を既存の公共交通などを活用してネットワーキ化し都市構造が形成された姿を理想の将来像としている。

伊豆の国市放課後児童教室の現状と今後の運営について



井川弘二郎



問 放課後児童教室の待機児童数・児童厚生員の数と構成は。

答 待機児童は現在いない。児童厚生員は定数53人に対し、現在48人を配置している。このうち41人が県の研修を受講した認定資格者となっている。

問 放課後児童教室の現状と課題や問題点は。

答 市内12施設で合計417人の児童が利用している。少子化により児童数は減少しているが、利用者数は年々増加し、施設を増設するなど待機児童を出さないように努めている。

運営の課題は、児童厚生員が常に不足していること。近い将来、大規模校を中心に施設が不足すること。増加傾向にある個別の支援を必要とする児童への十分な対応ができないこと等がある。

問 児童厚生員による運営の課題について。

答 児童厚生員は、研修を経た有資格者ではあるものの、近年は保護者の多様なニーズもあり、学校教諭のような

知識と指導力を必要とされるようになってきたことや、日々の運営に追われ、研修や情報共有の場が得にくくなってきている。このような点が、会計年度任用職員として児童厚生員を任用している課題であると認識している。

問 放課後児童教室の今後の運営方針について。

答 放課後児童教室の利用状況は、今後、さらに増大することが見込まれ、見守りだけでなく学習支援やイベントの開催なども期待されているなど、保護者のニーズも多様化している。職員の負担軽減と児童・保護者に対するサービスの向上を図る観点から、公設民営による運営に移行することが効果的な方法であると教育委員会では考えている。今後は、保護者等に意見を伺った上で、あるべき運営方針を早急に取りまとめるようにしていきたい。



大仁高校跡地(くぬぎ会館) 継続利用は可能か



古屋鋭治



問 ①借用時の契約内容は。②県との協議内容は。③借用継続できない場合の文化活動拠点の確保は。

答 ①借用期間は、令和8年3月まで。②借用期間満了後は、施設老朽化が著しく、延長の可能性がない限り県に返却することになる。継続の可能性は、ゼロではないが県からは、建物や構造物等の取り壊しや、取り壊し後の土地整備にお金がかかる。それらを総合的に見てどのくらいの対価を市に負担してもらえるのかと言われている。③現施設閉館後は、あやめ会館や葦山農村環境改善センター、葦山生涯学習センターなどの類似施設や地区公民館を活用いただくなどが考えられる。

小・中学生の制服選択制について

問 ①大仁中学校はすでに男女とも従来の制服に加え、ブレザー・スラックスの選択が可能。大仁中の導入の経過と着利率は。②県内市町の取組状況は。③葦山・長岡中学校も選択制導入を。市内

6小学校のうち長岡南小学校のみ制服となっている制服選択制導入の検討は。



答 ①大仁中は、スカートの寒さ対応もあり令和2年度以降に検討が行われ令和4年度から実施している。ブレザーは男子4人・女子9人(スラックスとセット)②県東部では、沼津市・函南町で一部の中学校で導入。裾野市・伊豆市・三島市は令和5年度から全中学校でブレザーの制服に変更することとし、スラックス・スカートのどちらも選択可能。③制服選択制導入等は、各校の裁量にゆだねている。しかし、教育委員会としては、ジェンダーの観点だけでなく、防寒・防犯対策等にも配慮の上、新たな制服の選択を働きかけてきている。両校とも令和6年4月からの導入を予定。導入に当たっては、先行している大仁中学校のブレザー・スラックス・スカートに合わせていきたい。市内中学校同一としたい。長岡南小学校の保護者にアンケート調査を実施したところ、9割が制服継続の結果であった。

市内7カ所の不適切盛土
箇所への対応について



一藤武司



問 熱海土石流事故後に国土交通省が行った「全国盛土総点検」で判明した県内の不適切盛土箇所は、196カ所もあったと発表され、本市も7カ所確認をされたが、その危険性と盛り土の定義は。

答 市内7カ所の不適切盛土は、いずれも緊急性がなく、危険度が低いと県は判断している。盛り土定義は、面積が千平方メートル以上、または土砂の量が千立方メートル以上のもので、県条例の許可を得る必要がある。対象未済であっても都市計画法の開発行為、宅地造成等規制法、農地法、森林法等の許可が必要となる場合がある。

問 地元自治会への周知状況は。

答 危険度が低いと県は判断しているため、本市は地元自治会などへの周知は特に行っていない。

問 盛土箇所の状況変化確認は。

答 市が定期的に巡回監視を行っており、是正指導の時点で盛土行為を停止させている。現時点でさらに土砂が撤

入されて盛土が拡大しているといった状況はない。

問 本市では、千平方メートル未満500平方メートル以上の盛土がもし発生して、それが危険であるとすれば、市が独自で撤去命令または、代執行等を出すようになるのか。

答 今の段階で、条例はこれから作成していく予定ではあるが、県の条例未済であれば、市が撤去命令を出せないと考えている。

また、県が代執行に当たらないと判断したのについて、市が肩代わりするということではできないと考えている。

問 市独自の公表を委ねられた場合の対応は。

答 県の動向に注視していきたいと考えているが、公開されることになれば、所在地の区長にその旨お伝えし、また、その周知なども相談していきたい。



放課後児童教室の
民間移行について



笹原恵子



問 放課後児童教室で勤務する職員について、条例に書かれている通り、児童支援員とすべきではないか。

答 報告文書等について、条例で定めがある支援員で今後統一できるように検討したい。

問 過日開催された総合教育会議にて、放課後児童教室の民間移行の考えを示したことは、大きな変更であるが、メリットとデメリットは何か。

答 メリットは、職員不足の解消と、これを要因とした待機が発生しない、ノウハウによる運営の均質化と、職員のスキルアップが図られる。また、効率的な配置や、豊富なサービスの提供が可能となること。デメリットは事業移行に伴う経費が増加すること。

問 人材確保について、民間移行によってこの問題が解消されるとの認識か。

答 職員について、今の公設公営よりも人数が確保できると考えている。

問 厚生労働省の放課後児童クラブと文部科学省の放課後子ども教室との一体型について、どのように考えるか。

答 小学校の「地域学校協働本部」でも課題解決の取り組みをしているので検討していく。地域との関わりは行政がコーディネートしなければと考えており今後協力しながら進めていきたいが、まずは放課後児童教室の安定的な運営を優先課題として取り組んでいきたい。



放課後児童教室

避難所運営訓練の充実に向けて

問 長岡南小で令和4年の総合防災訓練が行われたが、中学生の参加人数も少なく、訓練というには程遠かった。事前の連絡調整は充分であったか。

答 市職員向けの説明会開催や地元区との調整の上で中学生の参加要請をしたが、当初計画していた内容での訓練が実施できなかったことは残念な結果であった。

問 長岡南小の訓練を見て、市長はどのような感想を持ったか。

答 防災訓練や避難場運営訓練は大変重要で、実際に起こった場合にきびきびと動けるような、臨場感のある訓練が必要だと思っている。